

VII. 名詞のかたまり

1. 後置修飾がつくる「名詞のかたまり」

名詞の前に、限定詞、形容詞・分詞・動名詞が付いて名詞句ができますが、さらにその後には後置修飾で形容詞節などが付きます。これをまとめて「名詞のかたまり」と捉えることができます。「名詞のかたまり」は名詞として働き、文の主語、目的語、補語になることができるので重要な概念です。

後置修飾は日本語と語順が逆である上に、形容詞節など長いものが付くので、英語をそのままの語順で読んで聞いて理解するためにはこれに慣れることが必須です。そのためには、実際に英文を読みながら「名詞のかたまり」の部分音読が効果的です。



- この「名詞のかたまり」を () で囲むことはしません。

「名詞のかたまり」となるのは、形容詞的な句や節が（副詞的な句や節と区別されて）直前の名詞を修飾していることが認識された結果であり、いきなり「名詞のかたまり」として認識されるわけではありません。記号づけで形容詞的な句や節を指摘することが「名詞のかたまり」を捉えることにつながります。